

NISHIWAKI



西脇ライオンズクラブ
国際協会335-D地区3R-2Z

LIONS CLUB NEWS

会長テーマ — 協 勵 —



Vol.53 No.4 2014.10.28発行



3R-2Z 合同例会 地区ガバナー公式訪問

2014年10月7日(火)
多可町加美コミュニティーブラザ



2014~2015年度 地区運営方針

◆ 地区ガバナーテーマ

◆ 地区アクティビティスローガン

「原点回帰と革新」

「温故知新 次世代への展開」

ライオンズクラブ国際協会335-D地区 地区ガバナー L.小暮 敏郎

ライオンズクラブは新時代に入っています。“We Serve” “International”的2点を不变不滅の共通認識として、改革ではなく再構築が必要と考えています。組織は時代の推移に対処出来る柔軟性が不可欠です。テーマを「原点回帰と革新」として資質の向上、華美な形式的なものや必要性の薄い会議等は排除し合理的な革新を目指します。

当地区から43年振りに国際理事が就任されます。ご指導を賜わり、国際会長テーマ「誇りを高める」を実現し、地区に貢献出来る様全力で取組みます。



バナー交換



新会員入会式

西脇LCアクティビティスローガン —— 次世代に引き継がれる社会奉仕を ——



会長
L岡本 和明

＜第1240回 会長あいさつ＞

皆様こんにちは、本日も例会出席ありがとうございます。

9月に入り朝晩のみならず日中の空気が変わり、空の雲の様子も変わり季節が夏から秋に急に変化しつつあるのかと感じる今日この頃ですが、皆様はどうお感じでしょうか。

9月6日午後4時より黒田庄ライオンズクラブのメンバーと共に西脇病院1Fギャラリーにて国際平和ポスター展の準備を行いました。この展示は今月28日まで開催しておりますので、多くの方々にご覧になっていただきたいと思っております。

本日は、3R2Zゾーン・シェアパーソンL高木俊博をはじめ地区献血・視聴覚委員長L藤本昌宏、3R青少年育成委員L高田昇をお迎えしております。後ほどご挨拶をいただく事になっております。

また、10月第2例会に実施いたします献血奉仕事業につきまして、兵庫県赤十字血液センターより事業課長諫山安孝氏をはじめ早川弘二氏、中澤聰司氏においております。後ほど「献血推進のお願い」と題してのゲストスピーチをお願いすることになっております。

このように多くのゲストをお迎えしております本例会は、プログラム別紙の通り多くの提出議案がございます。地区からの広島土砂災害義捐金協力のお願いをはじめ献血奉仕事業、さらに先程の臨時理事会にてご承認をいただきました11月のにしぞく産業フェスタで実施いたしますチャリティバザーの件など重要な議題がございます。会員の皆様には慎重審議をお願いいたします。

なお、盛りだくさんの本例会でございますので、例会終了時間が若干延長になるかもしれません。「We Serve」の精神でご協力とご理解をお願いして、簡単ではありますが本例会の挨拶とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

＜地区役員あいさつ＞



ゾーン・シェアパーソン
L高木 俊博

前年度、3R2Zゾーン・シェアパーソンとして、L松原がご活躍されましたこと、厚く御礼申し上げます。

本年度も、キャビネット役員として、献血、視聴覚委員長として、L藤本、キャビネット運営委員、副幹事3R担当として、L西脇にご活躍頂いていることを報告し、御礼申し上げます。

昭和38年に設立されて以来、友愛と奉仕の理念のもと、ゾーンのリーダークラブとして歴史を重ねてこられましたことに敬意を表します。

国際会長 ジョー・プレストンのテーマ「誇りを高める」 335-D地区ガバナーテーマ「原点回帰と革新」アクティビティスローガン 「温故知新 次代への展開」に基づき行動したく考えております。

貴クラブの益々のご発展とメンバー諸兄のご活躍をお祈り致します。



青少年育成委員
L高田 昇

青少年育成委員でお世話になっております中クラブの高田です。

本年度の青少年育成 YCE 来日生の受入が、7月にあり2名の女子学生が、335-D地区に、やってきました。

受入先は、1リジョンと4リジョンの福崎サルビアライオンズクラブと八鹿ライオンズクラブに、ホストファミリーにお世話になり、無事8月に台湾、フィンランドの2名が帰国しました。

この冬期の派遣生についても、スポンサークラブ西脇ライオンズクラブさんの方で、1名の方が決まっており、行き先はクロアチアです。

そして、今年度冬期来日生受入に、335-D地区は5名決まっています。国名は、オーストラリア1名、マレーシア2名、クロアチア1名、シンガポール1名となっております。

各クラブにおかれましては、色々行事のある中、大変とは思いますが、受入のホストクラブ、ホストファミリー方々お考えの程、国際親善、青少年育成事業の目的に、理解を頂き来日学生の受入に協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

それと、青少年育成あります、ライオンズクエストを先週の9日、この会場でクエストセミナー体験会が、午前と午後にわかれ、クエストをより一層理解していただくため、交流会が開催されました。

今回初めて参加をして、なかなか理解に苦しむようなセミナーであったと思います。

クエストについては、ワークショップ希望されるクラブ、クエストをより深く知りたいクラブ、関心のある方は、委員長になんなりとお尋ね下さい。

最後に、青少年育成YCE、ライオンズクエスト、今年度お世話になりますが、宜しくお願ひ申し上げ青少年育成のお願いと報告をさせて頂きます。

ゲストスピーチ 「献血推進のお願い」



兵庫県赤十字血液センター
姫路営業所

事業課長
諫山 安孝様

岡本会長のテーマに「協働」と言うお言葉があります。わたくしはこの協働の「きょう」が「共」ではなく、「協」の力を合わせる字を当てておられることに共感いたしました。会長のお言葉の中でライオンズのアクティビティが「慈善事業団体」ではなく、「社会奉仕団体」であることを社会に対して、認識していただくことが大切であると。

ライオンズクラブの「We serve」は「われわれは奉仕する」ということでした。

これはわたしども、日本赤十字の使命にもつうずるところがあります。

「わたしたちは苦しんでいたりを救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも人間のいのちと健康、尊厳をまもります」とあります。

また、アクティビティとして「次世代に引き継ぐ社会奉仕」とおしゃっておられました。この次世代についてわたしどもこれから血液事業にも言えることです。

少子高齢化、過疎化が急速に進んでいるこの335-D地区の献血者確保にどれだけライオンズ様にお力添えをいただいていることでしょう。

今後とも、さらなるご支援、ご協力をお願いし、あいさつとさせていただきます。



早川 弘二様 中澤 聰司様